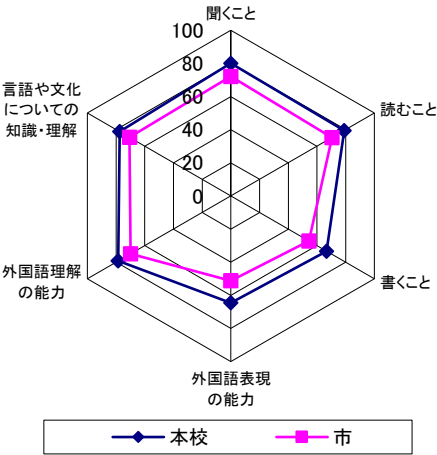


宇都宮市立星が丘中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	80.1	72.2	67.8
	読むこと	79.0	70.5	70.4
	書くこと	66.7	54.3	54.0
観点別	外国語表現の能力	64.6	51.2	49.2
	外国語理解の能力	78.5	69.8	65.8
	言語や文化についての知識・理解	77.6	70.7	74.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○領域の平均正答率は、市の平均を7.9ポイント上回っている。 ●聞き取った対話の内容や資料をもとに英語で答える問題については、正答率が37.4ポイントと他に比べると低い。	・内容の要点を正確にとらえることができるよう、まとまりのある英文を聞く活動を取り入れると共に、聞き方の指導やメモを取る指導を行っていく。 ・聞くことと書くことを関連づけた活動を取り入れ、両技能のスパイラルな向上を図る。 ・ALTとの授業の対話活動などを通して、自然な英語の音に慣れるよう指導していく。
読むこと	○領域の平均正答率は、市の平均を8.5ポイント上回っている。 ●長文全体を読み取った後、内容に対して一致していないものを答える問題の正答率が59.2ポイントとやや低くなっている。	・長文を読み取ることに苦手意識をもつ生徒が少なくないので、教科書の本文やワークの長文問題を通して、一部のわからない単語や表現にこだわらずにまとまりを意識して読み取る工夫を継続していく。 ・授業の中で、単語テストを実施して確実な語彙の定着を図る。 ・資料・グラフなどの情報付きの長文問題に触れる機会を作り、慣れさせていく。
書くこと	○領域の平均正答率は、市の平均を12.4ポイントと大きく上回っている。また、3文以上の英作文も約8割の生徒が書くことができています。 ●特定の文法事項について定着度に差が見られる。	・定期テストでは、まとまりのある5文程度の英作文を毎回課し、書く力を高める指導を継続してきた成果と考えられる。 ・まとまりのある英文を書くことに苦手意識を持つ生徒も少ない。日頃から1文だけで終わらせず、つながりのある英文を書く活動を取り入れて、慣れさせていく。 ・生徒が苦手とする文法事項を分析し、定着度を高めるために、意識して継続指導をしていく。 ・単語練習やテストを通して、正確に書く力を高めさせる。